

● 本会議一般質問(平成25年11月28日)

① 三重県と山梨県と〇〇県にないもの、なかったもの

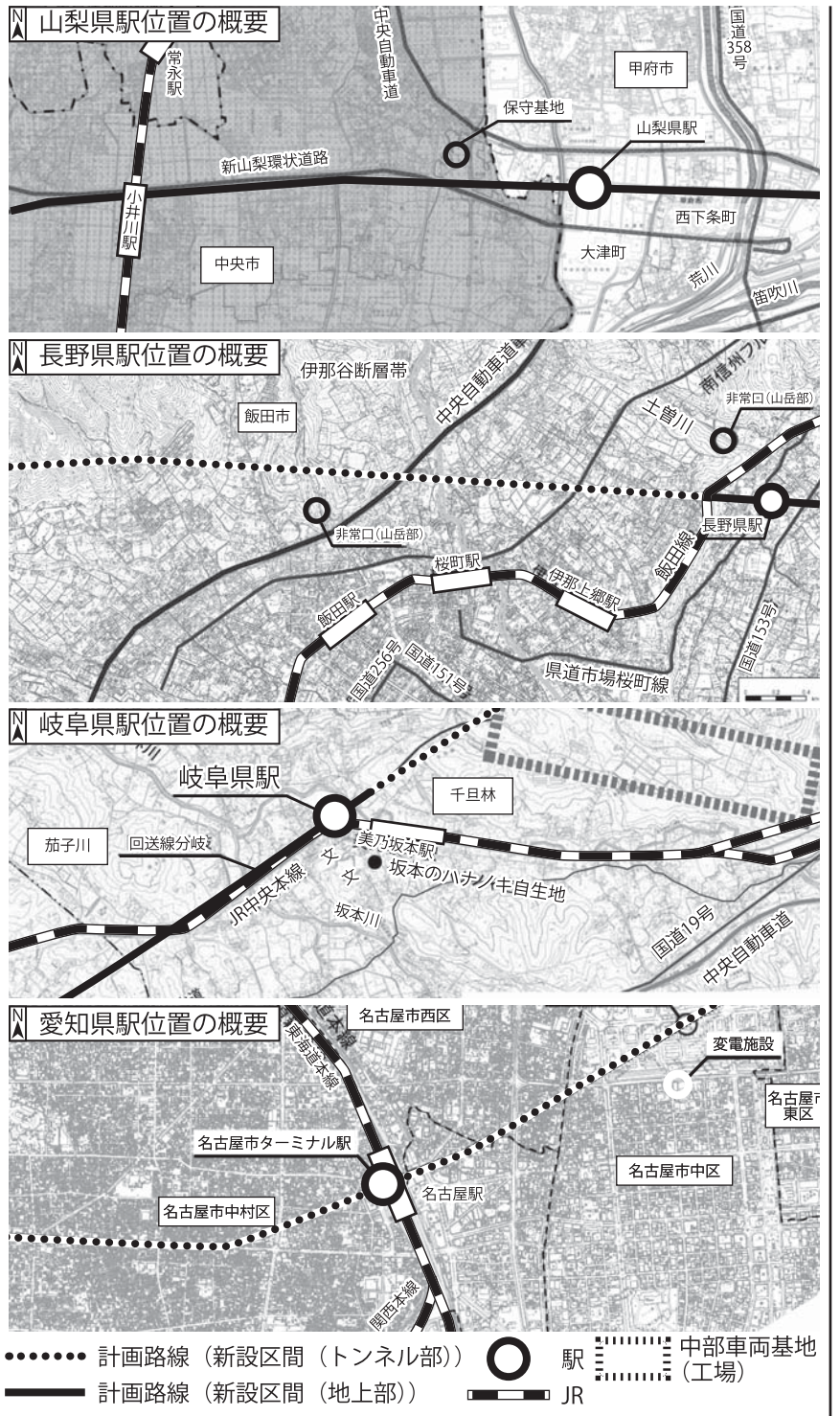
(1) 三重県と山梨県と奈良県にないもの

Q リニア中央新幹線の東京・大阪間全線同時開業に向けて、国の関与についてどう考えているか。

A 平成26年度には、東京・名古屋間の着工が予定されている。東京・大阪間の同時開業に向けては、JR東海の経営努力だけでは実現が困難であると考えられることから、国が積極的に関与していく必要があると考えている。

Q リニア中央新幹線の名古屋・大阪間のルートについて、京都の誘致活動についてどう考えているか。

A 昭和48年11月に決定された国の基本計画及び平成23年5月に決定された整備計画において、名古屋以西の主な経過地として「奈良市附近」と定められている。三重県としては、この定められた計画に基づき、早期に全線が開業できるよう、国等に強く働きかけていく。また、「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」での活動をはじめ、中間駅設置予定県である奈良県や両県の経済界とも連携して、「三重・奈良ルート」の実現に向けて取り組んでいく。



リニア中央新幹線、三重・奈良ルートの早期実現を。



Q リニア中央新幹線の東京・大阪間全線同時開業に向けてのオール三重県としての取組についてどう考えているか。

A 「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」に、三重県内の全市町が参画頂くよう働きかけ、体制を強化するとともに経済団体との連携を強くし、全線同時開業や概略ルート及び県内駅の概略位置の早期決定に向けて強く働きかけていく。

(2) 三重県と山梨県と福井県になかったもの

② 来春導入の二つの県民税について

(1) みえ森と緑の県民税について

(2) 県民税の復興税について

③ 救急医療体制について

Q 救急車が現場に到着してから患者を病院へ搬送するまでの時間の短縮のためにどのような取り組みをしているか。

A 救急医療に関する情報を提供するシステム「医療ネットみえ」を、医療機関における救急患者の受入に係る情報の充実、消防機関の搬送先選定の参考となる情報の提供もできるように改修しました。しかしながら、救急患者の受入に係る情報を常時更新するまでには至っていないため、引き続き受入医療機関の選定に時間を要する事案を減らすよう救急医療体制の整備を進めていく。

収容所要時間別搬送人員調べ

| 収容所要時間 | 30分未満   | 30分以上60分未満 | 60分以上120分未満 | 120分以上 | 収容平均所要時間 |
|--------|---------|------------|-------------|--------|----------|
| 平成24年  | 27,467人 | 46,573人    | 7,681人      | 252人   | 38分      |
| 平成23年  | 26,935人 | 44,136人    | 7,557人      | 262人   | 38分      |
| 平成22年  | 28,348人 | 40,707人    | 6,328人      | 248人   | 36.8分    |
| 平成21年  | 29,158人 | 36,399人    | 5,187人      | 184人   | 35.5分    |
| 平成20年  | 30,501人 | 34,629人    | 4,210人      | 170人   | 34.5分    |
| 平成19年  | 35,268人 | 32,304人    | 3,222人      | 121人   | 32.4分    |
| 平成18年  | 37,122人 | 28,092人    | 2,877人      | 94人    | 31.3分    |
| 平成17年  | 39,607人 | 25,984人    | 2,349人      | 91人    | 30.8分    |
| 平成16年  | 40,586人 | 21,155人    | 1,926人      | 77人    | 28.6分    |
| 平成15年  | 39,987人 | 19,004人    | 1,707人      | 64人    | 27.9分    |

④ 河川整備について

